

泳がそう！（変化を楽しむ）

教科・場面

みるきく

授業・実践のねらい

絵本の世界を楽しむ

（言葉からイメージを広げ、見えるものや動くものに注目する）

対象の児童・生徒

中学部 A1 班

重度重複スコア 国語・算数 I～II程度

課題とする項目：快反応がみられる音がある

手に触れているものの感触や変化に気づく

自発的に動かすことができる体の部位が少ないが、教師からの言葉かけや援助に応じて一緒に手を動かすことができる。言葉による関りを受け止め、それに表情や体の動きで反応を返すことができる。

教材・教具



工夫したところ

小さな動きで色に変化が起きるところ。

生徒の動きに応じて、作った魚が画面上で動くところ。

授業展開・教材の使い方・実践の内容など

- ①絵本「さんごのもり」の読み聞かせを聞き、海や「さかな」へのイメージを持つ。
- ②本教材を用いて、手に触れる絵の具の感触や色が伸びていく様子を楽しむ。（色の変化）
- ③作った魚を電子黒板に映す。
- ④生徒が iPad の画面に触れると、電子黒板上の魚の写真が動く。（画面上での変化）



↑ 電子黒板の画面

授業・実践を通じた児童生徒の変容

- ・やわらかい絵の具の感触を楽しむことができた。
- ・複数の色が手の動き等で混ざり合うことを楽しんだ。
- ・手や指を動かすと、画面上の魚が動いたり、周りの人から「すごい」と褒められたりすることを楽しめた。